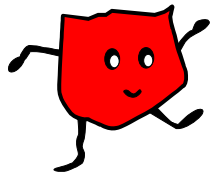
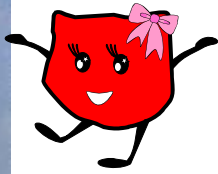


CLEAN COAL DAY IN JAPAN 2009



コール君



スミちゃん



写真提供：電源開発㈱

2009年9月7日(月)・8日(火) ANA インターコンチネンタルホテル東京 プロミネンス(B1階)
9月9日(水) サイトツアー ㈱クリーンコールパワー研究所(勿来IGCCプラント)

ご案内

石炭は、供給安定性と経済性に優れ、エネルギーのベストミックスを構成する重要な資源の一つとして、また、製鉄等への貴重な原料として利用されています。

既に京都議定書の第一約束期間が始まり、関係諸国間で地球温暖化問題に対する早急な取組みが求められている今日、石炭利用について企業及び国民の環境意識が高まってきています。

一方で、アジア太平洋地域においては、近年、経済の発展に伴い石炭に対する需要が大きく高まっており、将来的にも石炭需給に逼迫感が増すことが見込まれます。

本国際会議では、地球温暖化に対する政府の中期目標が公表されたことを受け、日本のクリーンな石炭利用技術(CCT)が将来の低炭素社会への切り札になり得るとの認識のもと、最新の石炭需給動向や気候変動問題に対する石炭の役割、また日本の石炭業界はどうあるべきなのか、皆様方とともに意見交換致したく、ここに石炭関連6団体からなるクリーン・コール・デー実行委員会は記念行事を開催致します。

多数の皆様にご参加頂けますようご案内申し上げます。



●地下鉄 銀座線・南北線「溜池山王」駅徒歩1分(13番出口)
<http://www.anaintercontinental-tokyo.jp/access/index.html>

主催：クリーン・コール・デー実行委員会 (6団体)

電気事業連合会
(社)日本鉄鋼連盟
(社)セメント協会
日本製紙連合会
電源開発(株)
(財)石炭エネルギーセンター

協賛団体 (12団体)

(社)日本化学工業協会
日本ソーダ工業会
(社)化学工業会
(財)エンジニアリング振興協会
(社)火力原子力発電技術協会
日本エネルギー環境教育学会
(社)日本エネルギー学会
(社)日本鉄鋼協会
日本化学繊維協会
(社)資源・素材学会
エネルギー環境教育情報センター
釧路市

後援：経済産業省

在日大使館(15カ国)(インド、インドネシア、オーストラリア、カナダ、韓国、スロヴェニア、タイ、中国、フィリピン、ベトナム、ポーランド、南アフリカ、モンゴル、マレーシア、ロシア通商代表部)

クリーン・コール・デー実行委員会事務局
財団法人 石炭エネルギーセンター アジア太平洋コールフローセンター 事務長 吉田 実
Tel: 03-6400-5193 Fax: 03-6400-5207
Email: ccd2009@jcoal.or.jp

CLEAN COAL DAY in JAPAN
2009 記念行事プログラム

もっときれいに、もっとやさしく、未来を支える石炭

平成21年度 クリーン・コール・デー記念行事国際会議
『日本のクリーン・コール・テクノロジーは低炭素社会への切り札である』
 財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL)

9月7日(月)

12:30-13:00	参加登録
13:00-13:40	開会セッション
13:00-13:10	開会挨拶 中垣 喜彦 財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL) 会長
13:10-13:20	来賓挨拶-I 石田 徹 氏 経済産業省 資源エネルギー庁 長官
13:20-14:00	来賓挨拶-II The Hon Peter Batchelor MP 「豪州ビクトリア州におけるクリーンコールの可能性と機会」 豪州 ビクトリア州 エネルギー・資源大臣
14:00-14:50	基調講演-I (米国) Dr. Joseph P. Strakey 「クリーン・コール・テクノロジー～米国に於けるエネルギー・環境課題解決に向けての政策オプション」 米国エネルギー技術研究所 最高技術責任者(CTO) 兼 エネルギー省 クリーンコール担当次官補代理(代行)
14:50-15:10	休 憩
15:10-15:50	基調講演-II (日本) 手嶋 龍一 氏 「クリーンコールテクノロジーと今後の世界戦略」 ジャーナリスト(元NHK ワシントン支局長)
15:50-16:30	基調講演-III (日本) 佃 和夫 氏 「世界に貢献するわが国のCCT」 三菱重工業株式会社 取締役会長
16:30-16:35	休 憩
16:35-18:40	セッション-I 日本と産炭国との協力とは セッション議長 アジア・太平洋エネルギーフォーラム 代表幹事 末次 克彦 氏
16:35-17:00	講演-1(日本) 坂梨 義彦 氏 「期待される重層的な石炭産消協力」 電源開発株式会社 代表取締役副社長
17:00-17:25	講演-2(豪州) Mr. Chris Stamford 「豪州の石炭供給安全保障問題とローエミッション技術」 資源・エネルギー・観光省(DRET) 資源局 鉱物部長
17:25-17:50	講演-3(インドネシア) Mr. Bob Kamandanu 「インドネシア炭～期待できる将来像」 インドネシア石炭協会(ICMA) 会長
17:50-18:15	講演-4(日本) 川嶋 文信 氏 「石炭消費国としての日本のやること・できること」 三井物産株式会社 執行役員 エネルギー第一本部長
18:15-18:40	講演-5(豪州) Mr. Ralph Hillman 「気候変動～豪州石炭産業の課題」 豪州石炭協会(ACA) 事務局長
18:40	第一日閉会

9月8日(火)

09:00-09:30	参加登録
09:30-10:10	基調講演-IV (日本) 茅 陽一 氏 「温暖化の中長期目標とその対応」 東京大学名誉教授 財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE) 副理事長兼研究所長
10:10-10:30	休 憩
10:30-12:30	パネル・ディスカッション-I 気候変動問題と石炭の役割 モデレーター 茅 陽一 氏 東京大学名誉教授 財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE) 副理事長兼研究所長
パネリスト1	梶本 晃章 氏 社団法人日本動力協会 会長
パネリスト2	石井 正一 氏 日本COS調査株式会社 代表取締役社長
パネリスト3	山口 光恒 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授
パネリスト4	末次 克彦 氏 アジア・太平洋エネルギーフォーラム 代表幹事
12:30-14:00	昼 食
14:00-14:40	基調講演-V (日本) 橋川 武郎 氏 「日本の石炭火力技術は世界のCO ₂ 削減の切り札である」 一橋大学大学院 商学研究科 教授
14:40-15:00	休 憩
15:00-17:00	パネル・ディスカッション-II 日本の石炭ビジネスの切り札 モデレーター 嶋田 裕子 氏 環境ジャーナリスト
パネリスト1	木村 雅昭 氏 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部長
パネリスト2	福江 一郎 氏 三菱重工業株式会社 取締役副社長執行役員
パネリスト3	猪野 博行 氏 東京電力株式会社 取締役副社長
パネリスト4	黒木 啓介 氏 新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長
パネリスト5	衣川 潤 氏 三菱商事株式会社 常務執行役員金属グループCEO
パネリスト6	竹内 敬介 氏 日揮株式会社 代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)
17:00	閉会挨拶 並木 徹 財団法人石炭エネルギーセンター理事長・クリーン・コール・デー実行委員長

9月9日(水)

サイトツアー

クリーンコールパワー研究所(勿来IGCCプラント)

07:30	ANAインターコンチネンタルホテル東京 発
10:30-12:30	クリーンコールパワー研究所 見学
12:30-14:00	昼食(含、移動) 小名浜オーシャンホテル
17:30	ANAインターコンチネンタルホテル東京 着